



株式会社 ツバキ・ナカシマ

(株)ツバキ・ナカシマ 個人投資家説明会

2019年12月

証券コード 6464

本日の内容



- ◆ 会社概要
- ◆ ツバキ・ナカシマの特徴・強み
- ◆ 株価と株主還元方針



会社概要

1934年創業の世界をリードする精密ボール・ローラーメーカーです



製品と構成

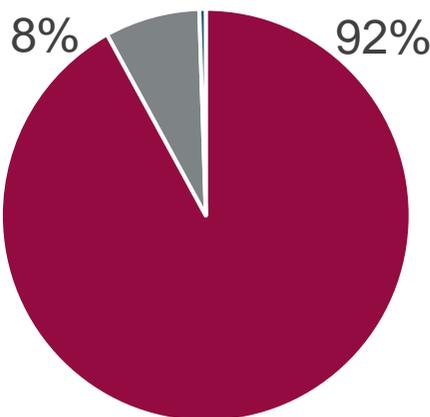
リニアビジネス



ボールねじ



大型送風機



2018年
売上748億円

プレシジョン・コンポーネントビジネス



ボール・ローラー

モノが回転するところにはどこにでも

ベアリングに組み込まれた精密ボール・ローラー



ベアリング用
ボール・ローラー



ボール・ローラー
ベアリング



幅広い
アプリケーション



身の回りにも当社ボールが広く使われています

ベアリング以外の用途の広がり



ボールペン先



その他



リニア・ブロービジネスの中大型製品に注力した事業展開



リニア・ブロー
ビジネス
製品

最終
用途

ボールねじ・ボールウェイ



ボールねじ



ボールウェイ



工作機械



産業用ロボット



射出成型機

送風機



送風機



工場／発電所等の冷却設備

注：主な最終用途を掲載しており、このほかにも用途は多岐に亘る。

会社プロフィール



(2018年12月末時点)

設立	1936年6月1日(創業1934年)
本社	奈良県葛城市
売上	748億円(うち、海外売上75%)
営業利益	99億円(営業利益率 13.3%)
従業員数	3,076名
上場市場	東証1部
証券コード	6464
単元株	100株

沿革



1934年	近森小三郎が東洋鋼球製作所として創立、自転車用鋼球の生産販売を開始
1936年	森居嘉一郎が合名会社東洋鋼球製作所を設立
1939年	東洋鋼球製造株式会社に改組し、樫本説三初代社長に就任
1954年	樫本鋼球製造株式会社に社名変更
1961年	東証、大証第二部に株式上場
1968年	株式会社樫本精工に社名変更
1988年	東証、大証第一部に指定
1996年	株式会社中島製作所と合併し、株式会社ツバキ・ナカシマとなる
2007年	TNNインベストメント株式会社の完全子会社となる株式交換により東証、大証上場廃止
2015年	東証第一部に株式再上場
2017年	米国NN社PBC事業部門を買収

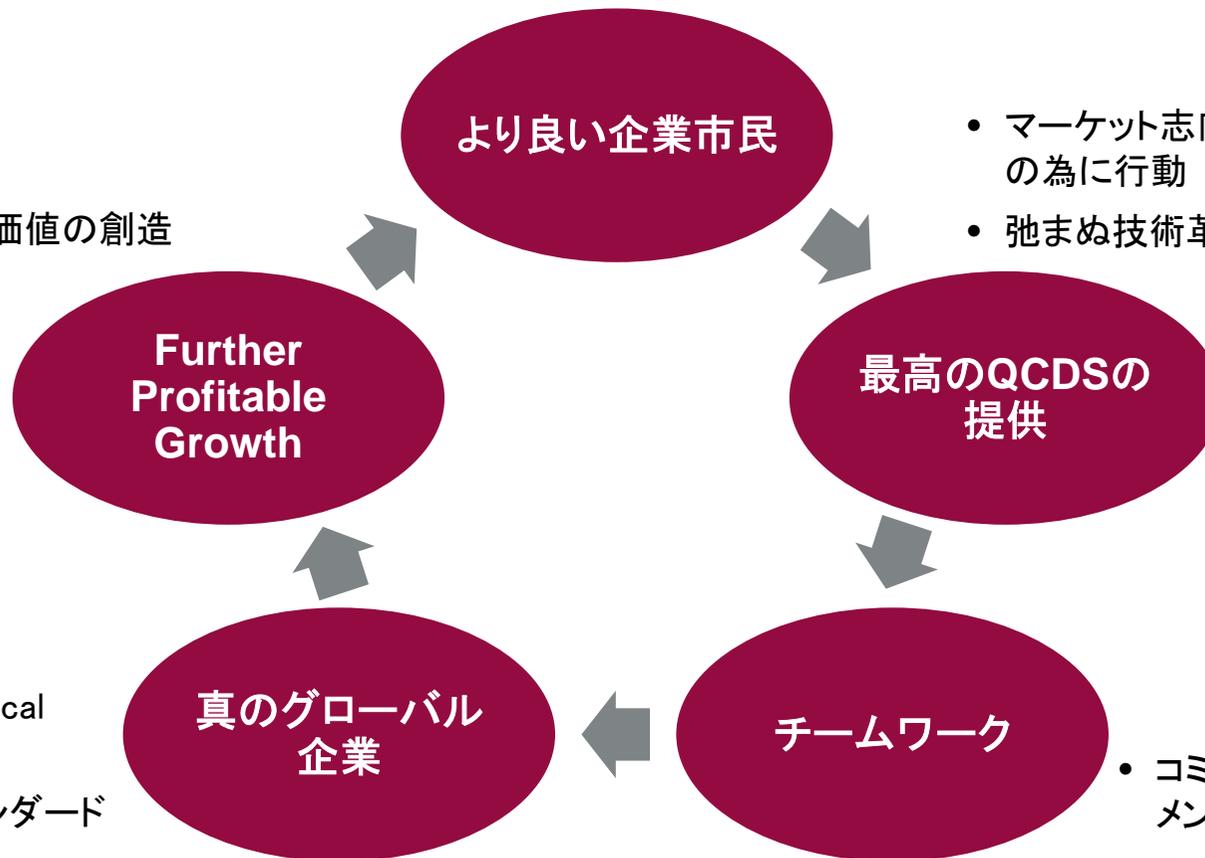
経営理念



“さらなる利益ある成長”を実現し、企業価値向上を継続的に創造し続ける、輝く企業を目指す

- コンプライアンス遵守
- 地球環境への貢献

- 継続的な企業価値の創造



- マーケット志向に立ち、お客様の為に行動
- 弛まぬ技術革新と改善

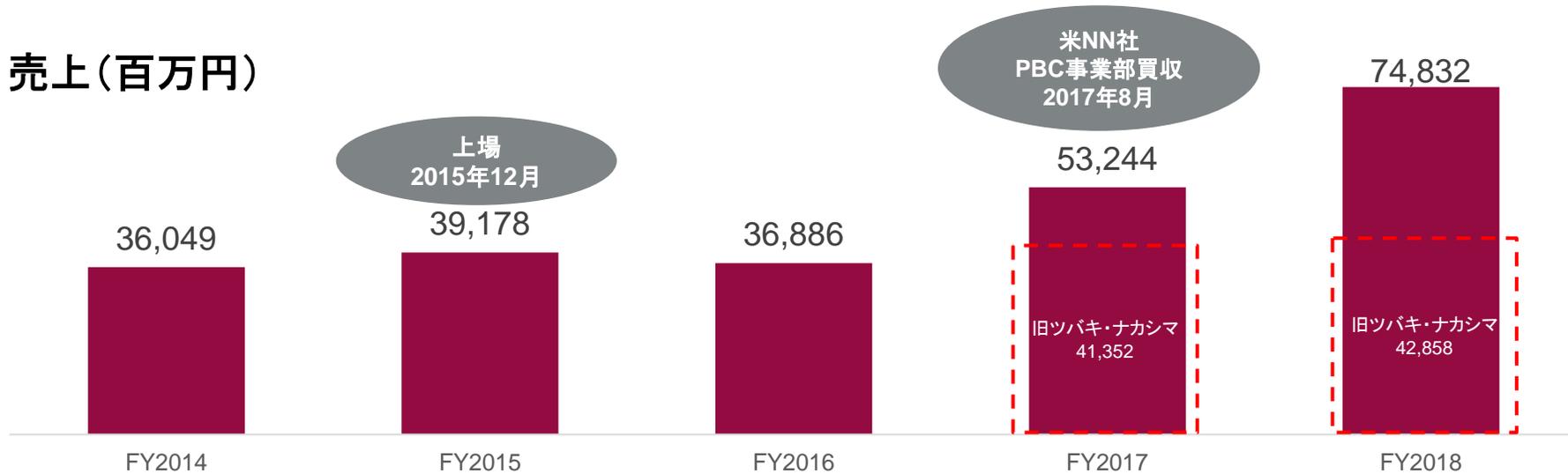
- Global Reach/Local Depth
- グローバルスタンダードへの適応

- コミュニケーションとメンバーへの尊敬
- 取引先様との相互信頼

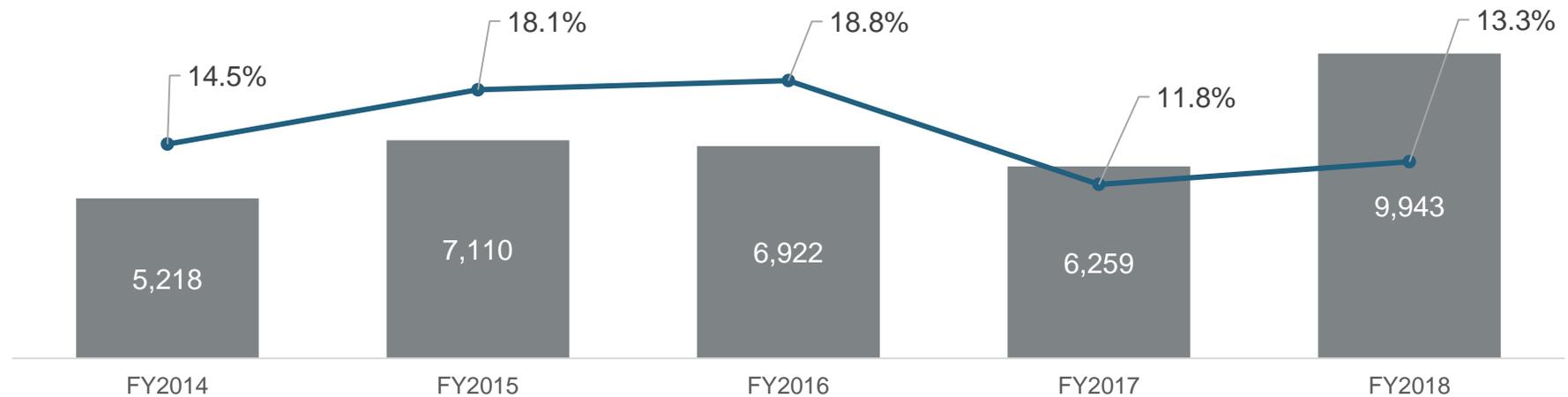
売上・営業利益推移



売上(百万円)



営業利益、営業利益率(百万円、%)





ツバキ・ナカシマの特徴・強み





- ◆ ニッチマーケットでの高いシェア
- ◆ グローバルな生産・販売網
- ◆ 社会変化に伴う新たなニーズの取り込み
- ◆ 安定した株主還元方針

ニッチマーケットで高いシェアを有しています



◆ 精密ボールの世界シェアトップです

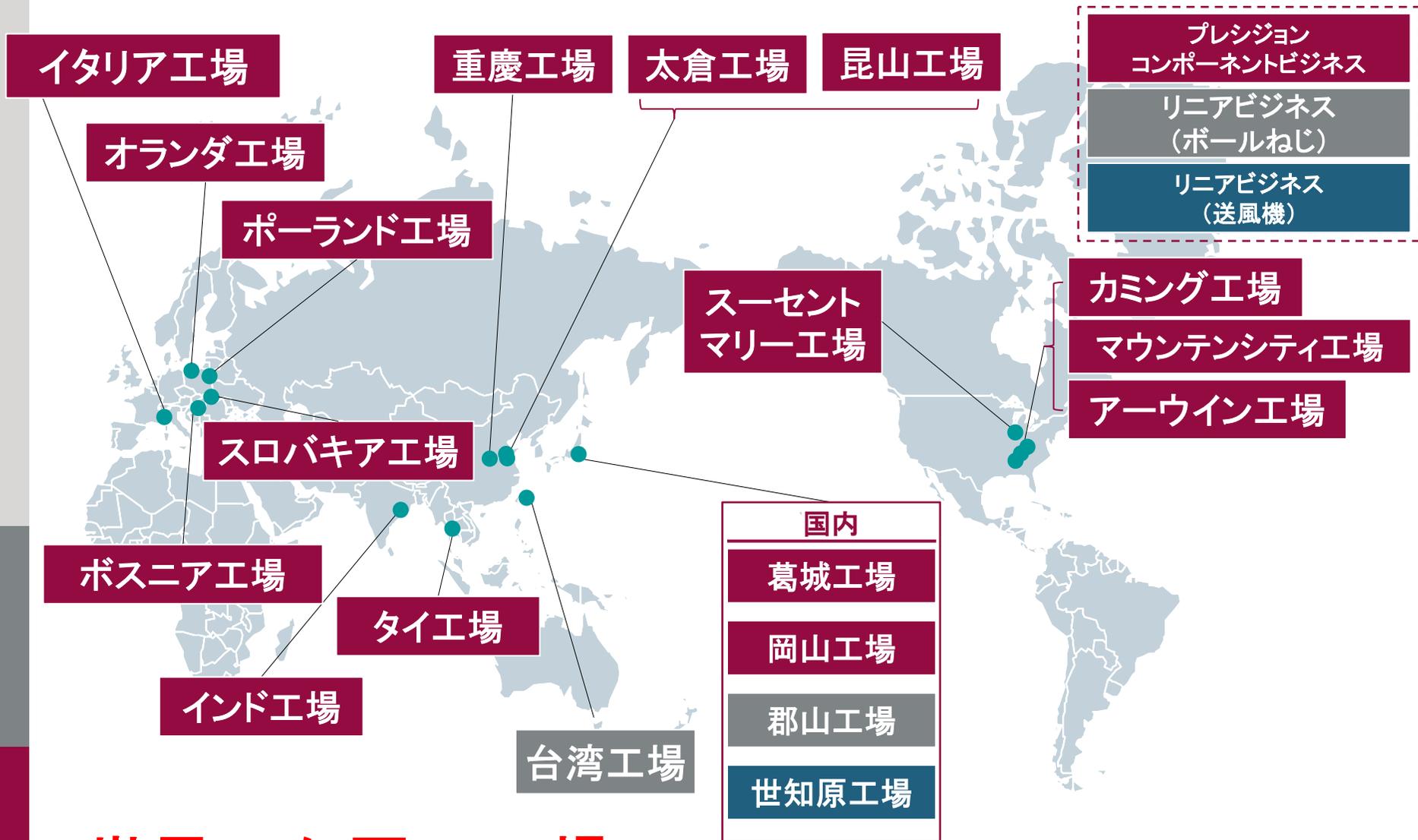


◆ 精密ローラーでも外製市場で高いシェアを誇ります



日本発、世界で事業を展開しています

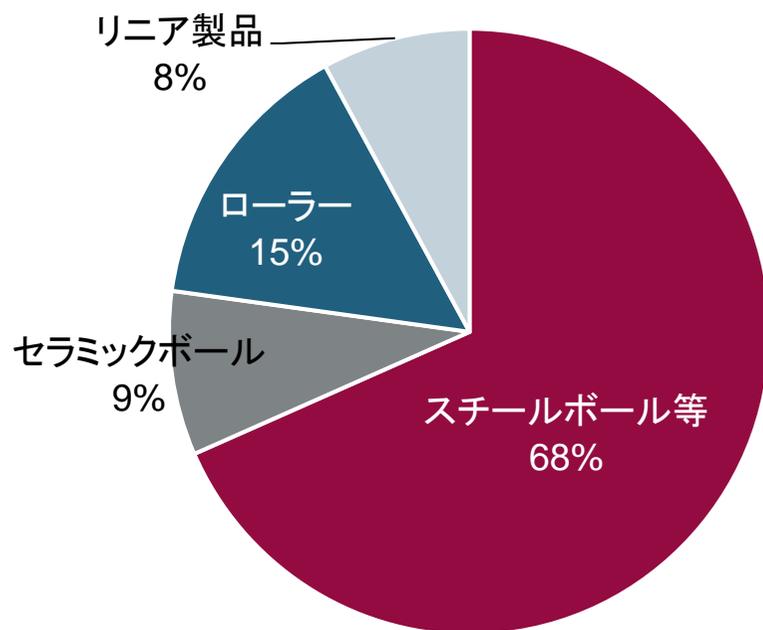
ツバキ・ナカシマのグローバル・ネットワーク



世界11か国19工場

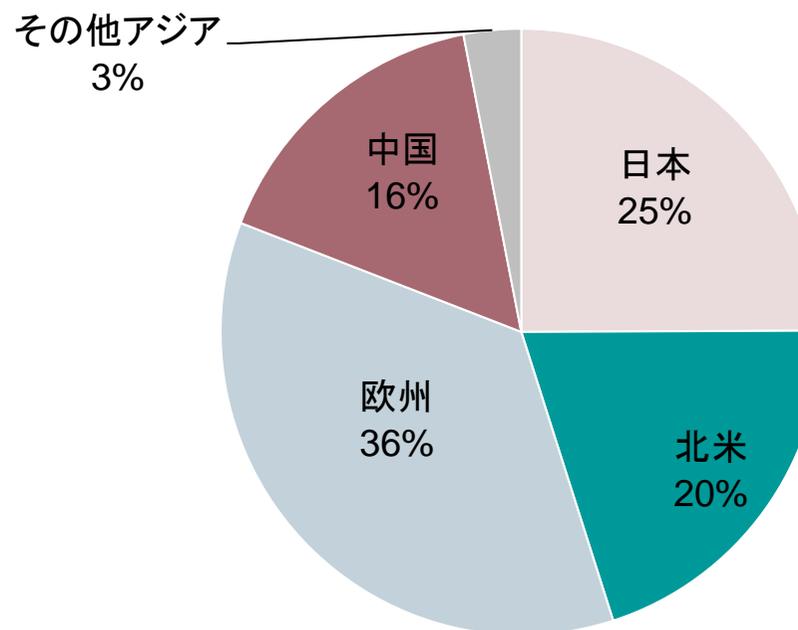
ツバキ・ナカシマの製品別・地域別売上

グローバルにバランスの取れた売上構成です



製品別

2018年実績



地域別

2018年実績

社会の変化に対応する新たなニーズを取り込んでいきます



ドローン



未来型自動車



産業機械/ロボ



人工衛星

IoT
(モノのインターネット)

もっと環境にやさしく
安全、便利、
効率的に

AI
(人工知能)



高性能情報家電



高度医療機器

IoE
(すべてのインターネット)



風力発電



高速鉄道

スチールボールのさらなる拡がり



社会の要求: 環境、生産効率、安全、快適性等



製品の高度化、多様化: コネクティビティ、自動運転、IoT等



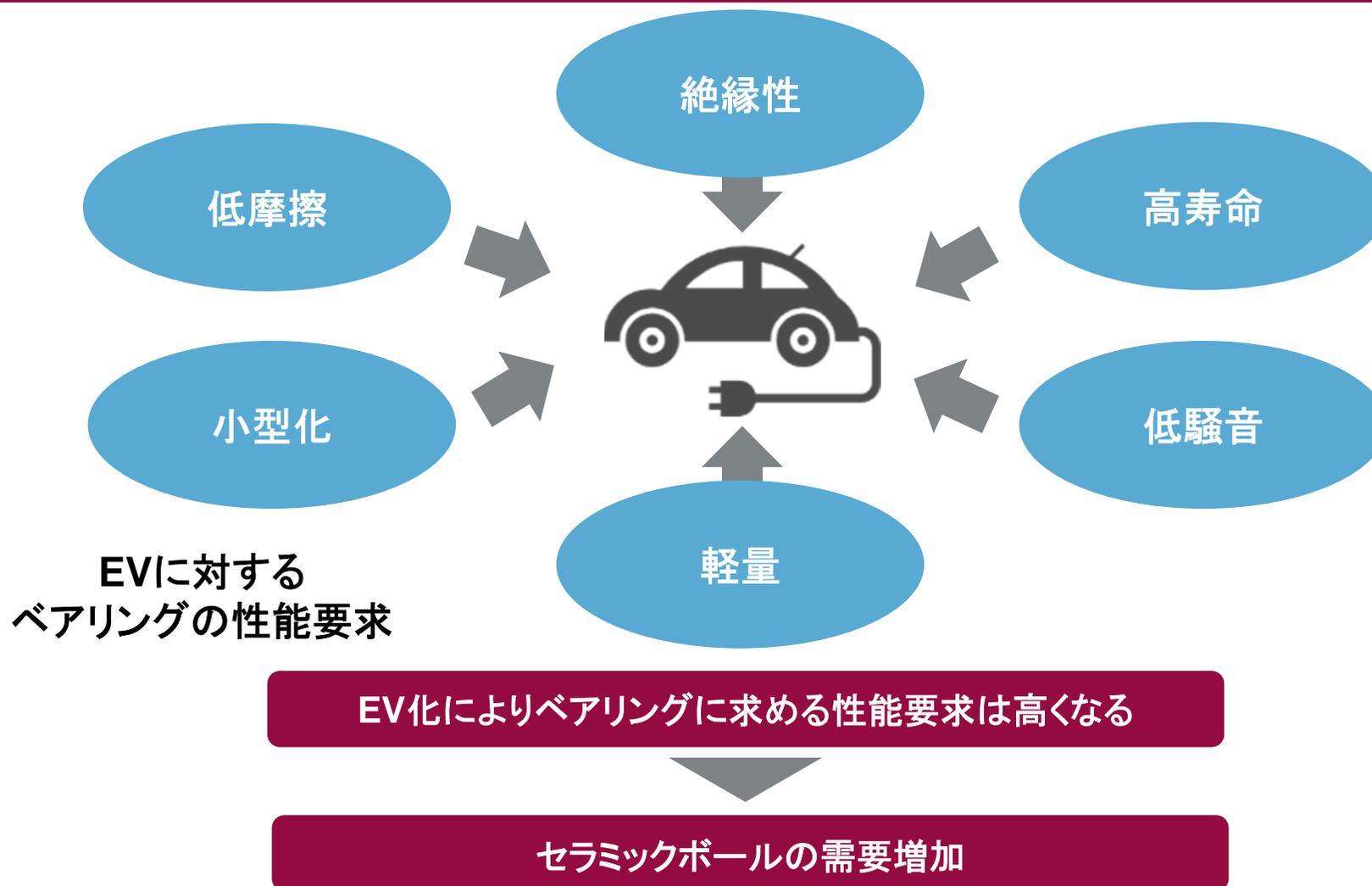
当社のモノづくり力



- ◆ 自社開発の生産設備で製品を製造しています
- ◆ 長年にわたる生産ノウハウを蓄積し、生産設備の改良に取り組んでいます



EV時代のセラミックボールの可能性



EVに対する
ベアリングの性能要求

EV化によりベアリングに求める性能要求は高くなる

セラミックボールの需要増加

EV化により自動車1台当たりのベアリング点数は減少すると言われてはいますが、高性能ベアリングへのニーズはますます高まっています。セラミックボールを使用するベアリングは、このようなニーズに応えることが可能です



(まとめ) 特徴・強み

当社の強みを生み出す枠組み



品質

X



コスト

X



デリバリー

X



サービス

- ✓ ニッチマーケットでの高いマーケットポジション
- ✓ 広範な製品群と高い品質
- ✓ 長年にわたる生産ノウハウの蓄積と自社開発による生産設備
- ✓ グローバル人財・組織によるワンチームオペレーション
- ✓ グローバル生産網によるお客様への即納体制とサービスの提供
- ✓ 独立系メーカーである強みを生かした広範な顧客基盤

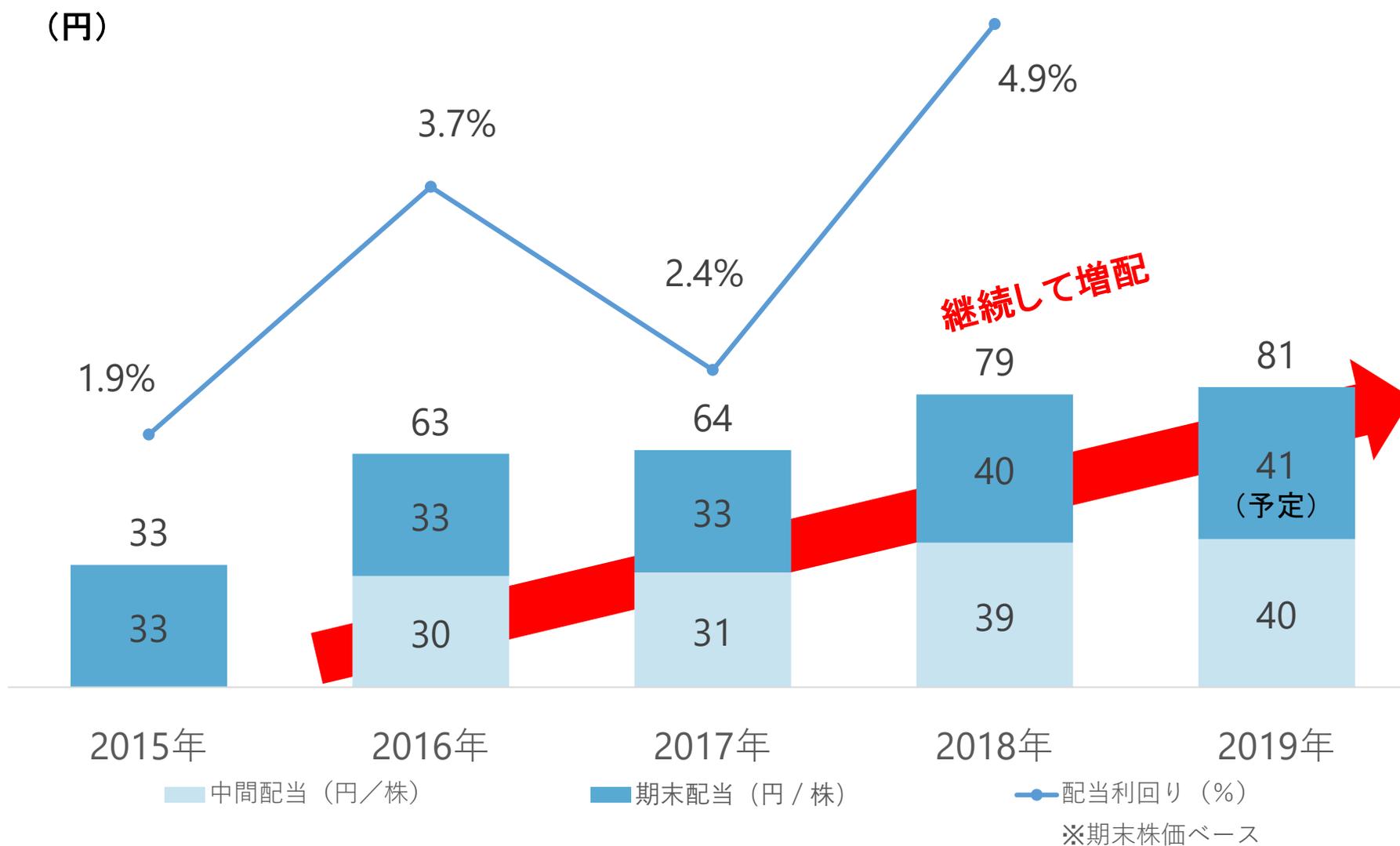


株価と株主還元方針

上場来の株価推移



配当推移



株式情報



2019年9月末現在

株主数	8,769名
個人株主比率	16.79%
外国人持株比率	48.78%
上場取引所／銘柄コード	東証1部 6464
会計期間	1月1日～12月31日
配当基準日	中間配当 6月30日 期末配当 12月31日
最低投資単位	100株